

千歳市長コメント【4月9日(木)】

グループホームにおける新型コロナウイルス感染症患者について

昨日8日、札幌市の民間事業者が運営する、市内住吉4丁目のグループホーム「ぬくもりの里」におきまして、入所する2名の方が、新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明いたしました。

2名の方は、発熱などの症状が出たことから、それぞれ、市内の医療機関であります「北星病院」と「千歳第一病院」に入院していたところであり、一日も早い回復を願っておりましたが、昨夜、「千歳第一病院」に入院されておりました、70代の女性がお亡くなりになられたことを確認したところであります。

市内において感染が確認された方の中で、初めて亡くなられたということになり、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の方に心よりお悔やみ申し上げます。

なお、お亡くなりになられた方の情報につきましては、最小限の公表とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

「北星病院」に入院されていた80代の女性につきましては、昨

日、「札幌医科大学附属病院」に転院しておりますが、容態については軽症であると伺っております。

また、入所者の感染が確認された、グループホーム「ぬくもりの里」は、認知症 対応型 共同生活介護サービスの高齢者施設であり、施設内における集団感染、いわゆるクラスターの発生を懸念していたところであります。

その他の入所者及び職員「計34名」の方々の、PCR検査を実施したところ、本日、そのうち、入所者6名と職員1名の「合計7名」の感染者が確認されたとの報告を千歳保健所から受けたところであります。

北海道では、引き続き、感染経路や濃厚接触者などの調査を進めていると伺っております。

新型コロナウイルス感染症につきましては、国や北海道などと連携を図り、市内における感染拡大の防止に向けた取組を行っているところでありますが、高齢者施設において集団感染が確認されたことは、大変、憂慮すべき事態であります。

高齢者施設を含む社会福祉施設等が提供する各種サービスは、利用者の方々やその家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、

十分な感染防止対策を前提として、利用者に対し、必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要であるものと考えております。

市内の各社会福祉施設等では、厚生労働省からの通知に基づいた対応を行っていただいておりますが、市といたしましても、改めて、感染防止に向けた取組を徹底していただくようお願いしてまいります。

国は、4月7日、東京都などの7都府県に対し、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を行いました。

北海道は、現時点で対象区域となっていないものの、依然として流行は終息に向かっていないことから、5月6日までの「緊急事態宣言」の期間は、改めて、これまでの取組を再確認し徹底していく「集中対策期間」と位置付けており、本市といたしましても、市民の皆様とともに、感染予防・拡大防止に努めてまいります。

最後になりますが、このたび、新型コロナウイルスに感染された方々におかれましては、一日も早いご回復をお祈り申し上げますとともに、市民の皆様におかれましては、国や北海道、市が発信する正確な情報に基づき、落ち着いて行動していただくよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。